Creative Enzymes®

バクテロイデス・フラジリス由来のL-フコキナーゼ/GDP-フコースピロリン酸化酵素、組換え

Cat. No. NATE-1495

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	酵素学において、フコシナーゼ (EC 2.7.1.52) は、次の化学反□を触媒する酵素です：ATP + L-フコース → ADP + β-L-フコース 1-リン酸。したがって、この酵素の二つの基質はATPとL-フコースであり、その二つの生成物はADPとβ-L-フコース 1-リン酸です。酵素学において、フコース-1-リン酸グアニル基転移酵素 (EC 2.7.7.30) は、次の化学反□を触媒する酵素です：GTP + β-L-フコース 1-リン酸 → 二リン酸 + GDP-L-フコース。したがって、この酵素の二つの基質はGTPとβ-L-フコース 1-リン酸であり、その二つの生成物は二リン酸とGDP-L-フコースです。
別名	フコースキナーゼ; L-フコースキナーゼ; L-フコキナーゼ; ATP:6-デオキシ-L-ガラクトース 1-ホスホトランスフェラーゼ; ATP:L-フコース 1-ホスホトランスフェラーゼ; フコキナーゼ; EC 2.7.1.52; GDPフコースピロリン酸化酵素; グアノシン二リン酸 L-フコースピロリン酸化酵素; GDP-L-フコースピロリン酸化酵素; GDP-フコースピロリン酸化酵素; GTP:L-フコース-1-リン酸 グアニル基転移酵素; フコース-1-リン酸 グアニル基転移酵素; EC 2.7.7.30

製品情報

種	バクテロイデス・フラジリス
由来	大腸菌
EC番号	EC 2.7.1.52/2.7.730
分子量	106 kDa
純度	SDS-PAGEによる最小95%
単位定義	1単位は、37°CでL-FucとATPから1μmolのFuc-1-Pを生成する反□を触媒する酵素の量として定義されます。